

温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績)

1. 申請者 住所 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯763-1
氏名 株式会社ひらゆの森
2. 源泉名及び湧出地 源泉名 ひらゆの森の湯と沢水との混合泉
湧出地 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯763-1
採水地 同上 (浴槽湯口における分析)
3. 採水地における調査及び試験成績
(イ) 調査及び試験者 株式会社神岡衛生社 辻井伸明、日比野里美
(ロ) 調査及び試験年月日 平成26年4月9日
(ハ) 泉温 源泉泉温67.7℃(気温12℃) 供給点での温度54.0℃
(ニ) 湧出量 - 0/min(掘削による動力揚湯)
(ホ) 知覚的試験 無色透明、微塩味、硫化水素臭、わずかに浮遊物(湯の華)を認める。
(ヘ) pH値 6.7 (ガラス電極法)
(ト) ラドン(Rn) 測定せず
4. 試験室における試験成績
(イ) 試験者 株式会社神岡衛生社 辻井伸明
(ロ) 分析終了年月日 平成26年4月30日
(ハ) 知覚的試験 無色透明、微塩味、わずかに硫黄臭、浮遊物(湯の華)を認める。(試料採取後24時間)
(ニ) 密度 0.9992 (20℃/4℃)
(ホ) pH値 6.99 (ガラス電極法)
(ヘ) 蒸発残留物 934mg/kg (乾燥温度180℃)
(ト) 電気伝導度 141.1mS/m

5. 試料 1 kg 中の成分 分量及び組成

(イ) 陽イオン

(ロ) 陰イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
リチウムイオン(Li ⁺)	0.7	0.10	0.58	フッ化物イオン(F ⁻)	0.4	0.02	0.14
ナトリウムイオン(Na ⁺)	142.5	6.20	38.12	塩化物イオン(Cl ⁻)	132.0	3.72	21.93
カリウムイオン(K ⁺)	13.1	0.34	2.06	臭化物イオン(Br ⁻)	—	—	—
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	—	—	—	ヨウ化物イオン(I ⁻)	—	—	—
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	40.5	3.33	20.50	亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻)	—	—	—
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	124.5	6.21	38.21	硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	0.2	0.00	0.02
ストロンチウムイオン(Sr ²⁺)	1.1	0.02	0.15	硫化水素イオン(HS ⁻)	0.4	0.01	0.08
バリウムイオン(Ba ²⁺)	0.1	0.00	0.01	硫酸水素イオン(HSO ₄ ⁻)	—	—	—
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.03	0.00	0.02	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	131.3	2.73	16.10
マンガンイオン(Mn ²⁺)	1.5	0.06	0.34	リン酸水素イオン(HPO ₄ ²⁻)	—	—	—
鉄(II)イオン(Fe ²⁺)	—	—	—	メタ亜ヒ酸イオン(AsO ₂ ⁻)	—	—	—
鉄(III)イオン(Fe ³⁺)	—	—	—	炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	639.9	10.49	61.74
銅イオン(Cu ²⁺)	—	—	—	炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	—	—	—
亜鉛イオン(Zn ²⁺)	—	—	—				
陽イオン計	323.9	16.26	100.00	陰イオン計	904.3	16.98	100.00

(ハ) 遊離成分

非解離成分

(ニ) 溶存ガス成分

成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)	成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)
メタケイ酸(H ₂ SiO ₃)	65.1	0.83	遊離二酸化炭素(CO ₂)	126.3	2.87
メタホウ酸(HBO ₂)	14.9	0.34	(遊離炭酸)		
非解離成分計	80.0	1.17	遊離硫化水素(H ₂ S)	1.0	0.03
			溶存ガス成分計	127.3	2.90

溶存物質(ガス性のものを除く) 1.308 g/kg

成分総計 1.436 g/kg

(ホ) その他微量成分

総ひ素	0.002 mg/kg
総クロム	<0.01 mg/kg
鉛	<0.01 mg/kg
カドミウム	<0.005 mg/kg
総水銀	<0.0005mg/kg

6. 泉質 カルシウム・ナトリウム・マグネシウム-炭酸水素塩・塩化物泉
-
- 低張性-中性-高温泉

7. 禁忌症、適応症は別表による

平成26年4月30日

温泉成分分析機関登録 岐阜県第3号

岐阜県飛騨市神岡町東雲375番地
株式会社神岡衛生社 技術部長 辻井伸明

温泉分析書別表

1. 源泉名：ひらゆの森の湯と沢水との混合泉

2. 源泉所在地：岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯763-1
採水地：同上(ひらゆの森 内湯浴槽湯口における分析)

3. 温泉分析申請者：住所 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯763-1
氏名 株式会社ひらゆの森

4. 泉質：カルシウム・ナトリウム・マグネシウム－炭酸水素塩・塩化物泉
低張性－中性－高温泉

5. 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。

浴用の禁忌症：一般的禁忌症

病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、
進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、
少し動く息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、
むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、
慢性の病気の急性増悪期

浴用の適応症：療養泉の一般的適応症

筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり
(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、
運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、
胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、
軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、
ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進

炭酸水素塩・塩化物泉の適応症

きりきず、末梢循環障害、冷え性、皮膚乾燥症、うつ状態

6. 浴用の方法及び注意

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

ア. 入浴前の注意

- (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
- (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。
- (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。
- (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましい。
- (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
- (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

イ. 入浴方法

- (ア) 入浴温度
高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。
- (イ) 入浴形態
心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましい。
- (ウ) 入浴回数
入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよい。
- (エ) 入浴時間
入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよい。

ウ. 入浴中の注意

- (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
- (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。
- (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

エ. 入浴後の注意

- (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること。(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよい。)
- (イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

オ. 湯あたり

温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

カ. その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

(注)この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。